

II 空き家等対策計画**※抜粋****3. 空き家等の調査に関する事項****(1) 空き家等の実態調査**

平成27年度に町内全域を対象とする実態調査及び所有者等への空き家等に関するアンケート調査を行い、把握を行ったところである。

実態調査は、外観調査を行うとともに、空き家等に該当するか否かについて確認をするため、水道事業者に、使用状況や使用可能な状況かどうかについて情報提供を求めた。

また、令和3年度に自治会や住民から地域にある空き家等についての情報収集を行うとともに、今後、必要に応じて、実態調査及び所有者等へのアンケート調査等を実施していくものとする。

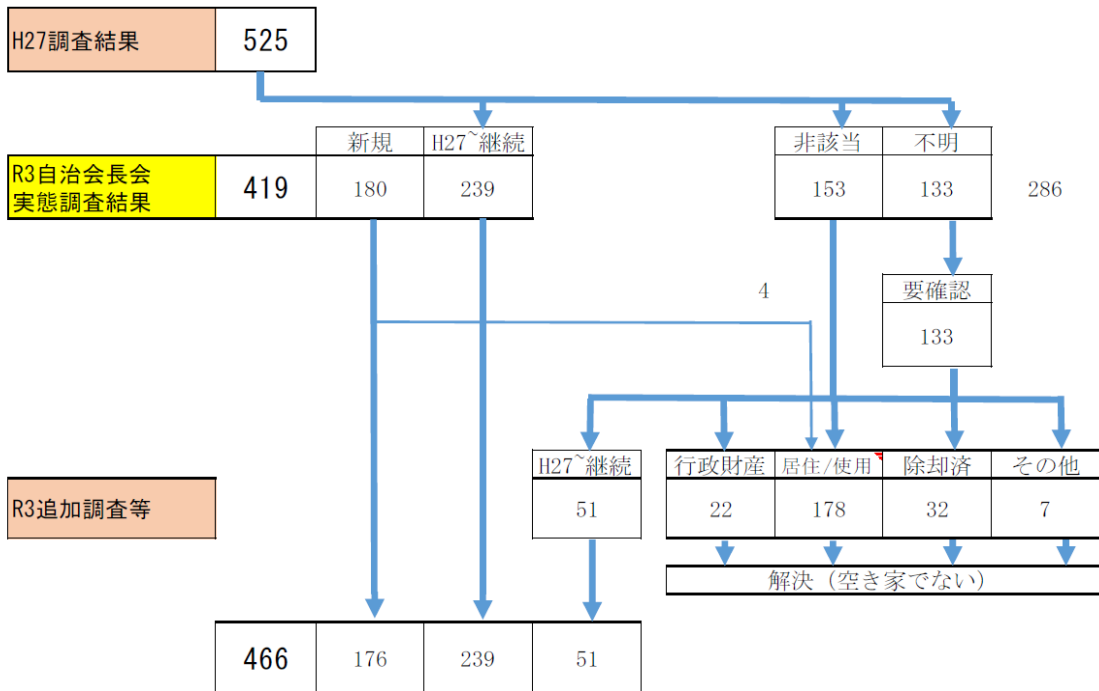
令和3年度稲美町空き家実態調査結果の概要**① 総数**

上記の自治会による実態調査結果419件に加え、平成27年度の調査結果からこのたび空き家非該当・状況不明となっていた286件の状況について追加調査を実施。

現在も空き家の状態が継続している物件が51件、行政財産として管理している物件が22件、居住や使用が確認された物件が178件、除却済みの物件が32件、その他7件であった。

については、自治会調査結果に追加調査分を加えた466件が本調査における空き家となる。

II 空き家等対策計画



② 樹木の状態別及び周辺への影響別のクロス集計

自治会から報告のあった419件において、樹木の状態別と周辺への影響別の調査結果をクロス集計したところ、29件の空き家で周辺への影響が出ていると考えられる。中でも特に建物関係で周辺に影響があるとの報告があった10件の空き家については、将来的な特定空家等になる可能性があるため、特に注意が必要と考えられる。

		⑥樹木状態					
		樹木が敷地外に突出している	樹木や雑草が繁茂している	その他	樹木の影響は特になし	空白	合計
⑦周辺影響	ゴミの放置や不法投棄が行われている	2	2		3		7
	その他	9	10		3		22
	建物関係	2	6		2		
	雑草	6	3				
	景観				1		
	鳥獣	1					
	空白		1				
	特になし	27	64	4	286	1	382
	空白	1		1	1	5	8
	総計	39	76	5	293	6	419

樹木敷地外突出×周辺影響有= **29**